



答弁中の中嶋町長

### 保護者の負担軽減を

## 25年度から実施予定

問

小学校入学時には多くの物品購入があり、保護者にとって大きな負担となっています。そこで「算数のおけいこセット」を町費購入し、学校の備品として授業で使用させ、保護者負担の軽減を図ってはどうでしょうか。

答 平松教育長

小学校で使用する算数のおけいこセットについては、25年度から学校備品として備蓄する方向で検討しています。

24年度中に最終調整を行い、12月議会で補正予算を計上するよう考えています。



小学校入学時に購入する算数のおけいこセット(さんすうぼっくす)

### 制服のリユース促進を

## 広報活動を支援していく

問

教育にかかる費用を少しでも節約したい。そんな思いから、学校ぐるみでお下がりの制服や体操着を譲り合う取り組みが広がっています。

不要になった人と必要な人をつ結びつける試みが支持され、教育委員会が制服のリユース(再利用)に取り組むところも出てきました。

厳しい経済状況の中で、家計の支援と子どもたちに物を大事にする心を養うことを目的として中学校の制服および近隣の高等学校の制服のリユースを、子ども教育課が窓口となって行っているかどうか。

答 平松教育長

制服のリユースについては、大賛成です。

しかし、それを行政サービスとして行うのは、本町の教

育施策である、感動・感謝・共感を生む教育のまちづくりにはつながらないと思います。

須恵町としては学校と保護者による活動が最も意義あるものと考えており、中学校の制服あるいは高校の制服も含めて、学校・保護者・PTAの協力によるシステムをつくり、教育委員会としては、このシステムが普及するよう広報活動をしていきます。



制服リユースを行っている古賀市教育委員会の窓口前

### 予防医療の拡充を

## 関係機関と連携して

問

予防重視の医療を目指す観点から質問します。

①昨年、厚労省は胃がんとピロリ菌との関係を認めました。これは、ピロリ菌を駆除することで胃がんの発症を劇的に減らせるといふ画期的なものです。未だ保険適用には至っていませんが、先駆的に実施している自治体もあります。須恵町としてはどうお考えでしょうか。

②厚労省は従来の四大疾患(がん・脳卒中・心臓病・糖尿病)に精神疾患を加え五大疾患とする方針のようですが、須恵町における精神医療の現状と対策について伺います。

答 吉松健康福祉課理事

①胃がんの発症とピロリ菌は因果関係があります。一般検診による早期発見、抗生物質の服薬によるピロリ菌の除菌、予防対策の啓蒙等が必要です。国の動向を見ながら、町内医師会と協議を重ね、任意検診という形で進めていきたい。

②精神医療の現状と対策は、本町も多数の患者がおられ非常に難しい問題をいろいろと抱えています。今後、粕屋中南部で地域自立支援協議会を開設する準備に入ったところです。4月1日から町で開設する地域包括支援センターとも連携を取りながら、精神の保健衛生にも取り組んでいきます。



田ノ上 真 議員

### LEDによる節電を

## 今後も進めていきたい

問

照明のLED化について質問します。

昨今、原発停止による電力供給の減少で、節電が国民的課題になっています。

町で設置している照明(庁舎・学校・街路灯・防犯灯など)を順次LED化していくことで、節電に寄与するものと考えます。

特に防犯灯においては、九電が新料金に改定したことで導入しやすいと思います。

町長のお考えはいかがでしょうか。

答 中嶋町長

23年度に、国の地域活性化きめ細やかな交付金を利用して、防犯灯および街路灯について、交換60カ所、新設130基のLED化事業を実施しました。24年度は庁舎一階部分の蛍光灯の交換を計画しており、25年度以降も節電対策として、公共施設には順次LED化を進めていきます。



庁舎一階の様子